

学校名：愛媛大学

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 具体的な修了要件

下記1～2の2科目2単位を取得すること。下記1～3の3科目3単位を取得すること。

③ 授業科目名称

授業科目名称		授業科目名称	
1	情報リテラシー入門Ⅰ	26	
2	情報リテラシー入門Ⅱ	27	
3	数学入門(データリテラシー入門)	28	
4		29	
5		30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

プログラムの授業内容・概要

① プログラムを構成する授業の内容・概要 (数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業概要	
<p>(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-1、導入1-6が該当</p>	<p>情報通信技術および計算機能力の飛躍的な向上により、ビッグデータやAIの利活用が身近なものとなり、社会全体がデータ駆動型にシフトしてきている。このような社会変化について、ネットワークの利用の「検索サイト」では、Webブラウザを通して訪問するWebサイトや検索キーワードなどからサジェスト機能や検索連動型広告などが行われていることなどをはじめ、データ駆動型社会によって実現されてきた様々な事例を通じて理解する。また、これらの事例における基本的な仕組みとなるビッグデータを分析する手法やそれらを実現する機械学習の手法など、ビッグデータやAIに関する基本的な知識を学ぶ。</p>	
	<p>授業科目名称</p>	<p>講義テーマ</p>
	<p>情報リテラシー入門Ⅰ</p>	<p>データと情報の数理(6) ネットワークの利用(2)、情報とデータ(5)</p>
	<p>情報リテラシー入門Ⅱ 数学入門(データリテラシー入門)</p>	<p>実データの分析(3)、データとAIの関わり(4)、AIの利用とリスク(5) ガイダンス:「データ」の成り立ち、分析で何がわかるか(1)、AIの活用、事例と課題、まとめ(8)</p>
<p>(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-2、導入1-3が該当</p>	<p>授業概要</p> <p>データ駆動型社会においては、多様なデータがあらゆる場面で利活用されている。このことについて、コンピュータで扱われるデータの多様な例を通じて、ネットワークを介して流れるデータの種類やその量、構造化データと非構造化データの違い、などについて理解すると同時に、官民が提供するデータやその取得などについて学ぶ。さらに、これら多様なデータは、適切に分析・加工されることにより企業活動などで広範囲に活用されていることを学ぶ。</p>	
	<p>授業科目名称</p>	<p>講義テーマ</p>
	<p>情報リテラシー入門Ⅰ</p>	<p>データと情報の数理(6) 情報とデータ(5)</p>
	<p>情報リテラシー入門Ⅱ 数学入門(データリテラシー入門)</p>	<p>実データの分析(3)、データ・AI活用事例の資料作成(Wordを利用)(6)、データ・AI活用事例の資料作成(PowerPointを利用)(7) (補足: 情報リテラシー入門Ⅱ(6)(7)の課題内容が、「モデルコアカリキュラム1-3、1-5」に対応) ガイダンス:「データ」の成り立ち、分析で何がわかるか(1)、AIの活用、事例と課題、まとめ(8)</p>

<p>(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの</p> <p>※モデルカリキュラム導入1-4、導入1-5が該当</p>	授業概要	
	<p>データ・AIを利活用した社会における価値創造に際しては、関連する様々な技術をもとにした多くの工夫が凝らされている。分類、回帰、クラスタリング、データの可視化などデータ・AIの利活用に向けたデータ利活用の基礎についての理解のもと、コンビニ等の店舗売上の予測が重回帰分析で得られることをはじめ、交通インフラ関連の最適化、教育画面での各種サポート、スポーツやコンビニなどの各種認識自動化など、データ活用技術が様々な適用領域で応用されていることを学ぶ。また、今のAIでできることとできないこと、AIの判断と人間の判断の違い、特徴などについて理解する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報リテラシー入門Ⅰ	情報とデータ(5)
	情報リテラシー入門Ⅱ	<p>実データの分析(3)、データとAIの関わり(4)、AIの利用とリスク(5)、データ・AI活用事例の資料作成(Wordを利用)(6)、データ・AI活用事例の資料作成(PowerPointを利用)(7) <small>(補足: 情報リテラシー入門Ⅱ(6)(7)の課題内容が、「モデルコアカリキュラム1-3、1-5」に対応)</small> 情報利活用:表計算(3~5)</p>
	数学入門(データリテラシー入門)	回帰分析-予測するには(6)、AIの活用、事例と課題、まとめ(8)
<p>(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をすすめる</p> <p>※モデルカリキュラム心得3-1、心得3-2が該当</p>	授業概要	
	<p>データ・AIの利活用においては、個人情報保護やデータ倫理、情報セキュリティなどについての様々な事項に留意しなければならない。学生に直結するデータ管理に関する問題例を通じて情報の取り扱いについての注意点を理解する。また、個人情報その他の権利やそれらを守る法律を他国の例も交えて学ぶ。さらに、ネットワーク上での問題点と情報を守るための暗号化について理解し、ビッグデータおよびAIと共に生きるために必要な事柄を議論する。</p>	
	授業科目名称	講義テーマ
	情報リテラシー入門Ⅰ	<p>PC利用の基本とセキュリティ(1)、ネットワーク利用における安全対策(4)、インターネットの数理的背景(5)、期末試験とまとめ(8) 情報セキュリティ=(1)、ネットワークの利用(2)、情報とデータ(5)</p>
	情報リテラシー入門Ⅱ 数学入門(データリテラシー入門)	<p>AIの利用とリスク(5) ガイダンス:「データ」の成り立ち、分析で何がわかるか(1)、AIの活用、事例と課題、まとめ(8)</p>

授業概要	
(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの ※モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3が該当	実際にデータ・AIを利活用するためには、データを取り扱うための基礎知識が必要不可欠である。まずは、数値以外にどのようなデータがあるかを理解し、数値データについては高等学校で学んだ統計基礎、特に散布図と相関について復習する。相関関係と因果関係の違いに注目した後、学習データから作られる単回帰分析の原理を学ぶ。び、 重回帰 重回帰へ展開した後に実際にデータを重回帰式に当てはめて予測を体感する。また、取得データにある不具合とそれを処理するデータクレンジングを理解し、またExcelを用いて簡単なデータ処理と可視化について学ぶ。
	授業科目名称
	講義テーマ
	情報リテラシー入門Ⅰ
	情報リテラシー入門Ⅱ
数学入門(データリテラシー入門)	
数学入門(データリテラシー入門)	
数学入門(データリテラシー入門)	
レポート作成(3) 情報とデータ(5)	
データ活用のための表計算ソフト(1)、データの可視化(2)、実データの分析(3) 情報利活用:表計算(3~5)	
データの種類、数値の客観性、意図はどのように入り込むのか(2)	
基本統計量1:(グラフ、平均、分散)データを代表する値(3)	
基本統計量2:(散布図、相関、因果関係)データの関連性(4)	

② プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「選択」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業科目名称
統計及び数理基礎	
アルゴリズム基礎	情報リテラシー入門Ⅰ(データと情報の数理(6))
データ構造とプログラミング基礎	情報リテラシー入門Ⅰ(データと情報の数理(6))
時系列データ解析	
テキスト解析	情報リテラシー入門Ⅱ(AIの利用とリスク(5))
画像解析	情報リテラシー入門Ⅱ(AIの利用とリスク(5))
データハンドリング	
データ活用実践(教師あり学習)	情報リテラシー入門Ⅱ(データとAIの関わり(4))
その他	情報リテラシー入門Ⅱ(データとAIの関わり(4))

③ プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

<https://www.cdse.ehime-u.ac.jp/program.html>

④ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

情報処理技術の飛躍的な向上により、世界中のあらゆる産業分野におけるデジタル革命が急速に進展している。本教育プログラムにおけるICT/DS/AIリテラシー教育を通じて、このように社会全体がデジタル化・データ駆動型にシフトしている状況を理解できるとともに、日常の道具としてコンピュータ・インターネットを活用するために必要な基礎的な知識・技能を身に付けられる。さらに、ビッグデータ・AI技術の利活用のために必要な基礎知識や注意点を理解できる。

学校名：愛媛大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

データサイエンスセンター・ミッションチーム申合せ、愛媛大学ICT/DS/AI 教育プログラム(リテラシー)・ミッションチーム認定書

② 体制の目的

愛媛大学データサイエンスセンター(CDSE)は、データサイエンス(以下DS)・AIについての利活用能力を有する人材の育成を支援することを目的に、全学的に展開するデータリテラシー教育、各学部で開講するデータ応用基礎教育、研究科で実施する高度DS教育など、本学および地域における様々なレベルに応じたDSに係る教育機会を整備・提供することとしている。このうち、特に、リテラシー教育の推進と改善を行う組織として、ICT/DS/AI 教育プログラム(リテラシー)・ミッションチーム※を設置している。

※令和4年9月2日に当初の、ICT/DS/AI 教育プログラム(リテラシー)・ミッションチームより名称変更

③ 具体的な構成員

ICT/DS/AI 教育プログラム(リテラシー)・ミッションチームリーダー

理学部 教授 CDSE(兼)副センター長 松浦 真也

ICT/DS/AI 教育プログラム(リテラシー)・ミッションチームメンバー

~~CDSE 教授・運営委員 中川 祐治~~

工学部 教授 CDSE(兼)運営委員 二宮 崇

教育学部 准教授 CDSE(兼)・運営委員 原本 博史

CDSE 准教授助教・運営委員 石川 勲

~~法文学部 准教授 CDSE(兼)運営委員 新関 剛史~~

理学部 教授 CDSE(兼) 尾國 新一

CDSE 講師 裏 和宏

理学部 助教 CDSE(兼) 高橋 裕子

~~教育・学生支援機構教育企画室 講師 竹中 喜一~~

教育・学生支援機構教育企画室 副室長(兼)准教授 仲道 雅輝

情報システム課、CDSE(兼) 梅本 祥史

情報リテラシー授業担当者

工学部 講師 稲元 勉

CDSE 教授 野口 一人

工学部 講師 一色 正晴

CDSE 講師 裏 和宏

教育学部 准教授 CDSE(兼) 河村 泰之

工学部 講師 CDSE(兼) 木下 浩二

工学部 教授 CDSE(兼)運営委員 二宮 崇

CITE 教授 CDSE(兼) 阿萬 裕久

経営情報分析室 助教 CDSE(兼) 佐々木 隆志

工学部 講師 稲元 勉

理学部 准教授 CDSE(兼) 大塚 寛

工学部 講師 堤 三佳

工学部 教授 小林 真也 防災情報研究センター 二神 透

工学部 教授 岡本 好弘

工学部 准教授 黒田 久泰

理学部 准教授 谷 弘幸

工学部 准教授 遠藤 慶一

工学部 准教授 CDSE(兼) 甲斐 博

④ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

各年度の履修者数の目標を以下のとおりとする。(()内は履修率。)

令和3年度 450名 (11%)

令和4年度 500名 (18%)

令和5年度 1770 ~~550~~名 (51 ~~25~~%)

令和6年度 1770 ~~600~~名 (75 ~~28~~%)

令和7年度 1770 ~~650~~名 (99 ~~31~~%)

目標を実現するために、令和2年度には、ICT/DS/AI 教育プログラム(リテラシー)・ミッションチームにおいて、リテラシー教育のあり方の再検討を進め、文系学部の教員も授業担当者に加わる体制を構築した。

さらに、令和3年度より、プログラム修了後の接続科目「データリテラシー入門プラス」を新設することを決定した。後続く学習内容を明示することで、学修意欲を向上させることができる。なお、令和3年度よりノートPC必携化を決定した。PC必携により、デジタルツールがより身近な存在となり、DS・AIへの関心が増す。加えて、計算機室のキャパシティの問題も解消され、より多くの受講生を受け入れる環境が整った。

令和5年度より履修率を100%とするため、全学必修科目である「情報リテラシー入門I」「情報リテラシー入門II」の履修合格でプログラム修了ができるよう、授業内容およびプログラム修了要件の変更を行った。

⑤ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

プログラム構成科目のうち、「情報リテラシー入門I」「情報リテラシー入門II」は全学必修科目のため、本学の学生全員が受講するのが前提であり、それを可能とする体制が整備され、安定的に運用されている。残りの1科目「データリテラシー入門」については、各学部の時間割を考慮し、開講クォーター、曜日、時限の異なるクラスをバランスよく配置し、クラスサイズも適正に設計している。これにより、全学的な受講ニーズに対し、無理なく対応できる状況にある。

令和5年度からは授業内容およびプログラム修了要件を変更し、全学必修科目のみでプログラムを構成することにより、本学の学生全員が受講する体制にした。

⑥ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

プログラム構成科目の「情報リテラシー入門I」「情報リテラシー入門II」は全学必修科目のため、履修漏れのないよう、履修ガイダンス等でも周知徹底している。関連科目となる「データリテラシー入門」についても、CDSE兼担の教員が窓口役となり、自学部の学生の履修を促している。また、CDSEのWEBサイト上でも周知を行っている。

学生が必ず目を通す修学支援システム、時間割表、履修案内冊子等を用いて、履修に必要な情報が確認できるようにしている。特に、プログラム構成科目のうち、「情報リテラシー入門I」「情報リテラシー入門II」は全学必修科目のため、履修漏れのないよう、履修ガイダンス等でも周知徹底している。「データリテラシー入門」についても、CDSE兼担の教員が窓口役となり、自学部の学生の履修を促している。また、CDSEのWEBサイト上でも周知を行っている。

⑦ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

組織的な対応としては、ICT/DS/AI 教育プログラム(リテラシー)・ミッションチームに、**CDSE専任教員をはじめ**文系から理系まで専門分野の異なる多様な教員が参画するようにしており、これにより、予備知識や学問的興味 of 異なる多様な学生たちに対し、それぞれに見合ったサポートができる体制となっている。技術面での対応としては、eラーニングシステムのMoodle上に教材を蓄積し、学生が自身の理解度に応じ、いつでもじっくり予復習可能な環境を構築している。教材の中で、学生の身近な話題や関心事を具体例として取り上げるなど、学習動機の上につながる内容を盛り込んでおり、これにより、できる限り多くの学生が、意欲的に受講し、学習内容を修得できる環境を整えている。

⑧ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

学習指導については、毎回の授業で計画的に課題(宿題)を出題しており、課題に取り組むことで、授業時間外にも必要な学習が効果的に行える仕組みにしている。質問を受け付ける仕組みについては、多数の方法を用意し、質問しやすい環境作りに努めている。具体的には、まず、授業時間内においては、随時、口頭での質問を受け付けている。また、授業後に自由討論の時間を確保しており、授業中にできなかった質問を聞けるようにしている。さらに、各回の課題提出に併せて、自由記述欄も設けており、そこでも質問を書き込むことができる。加えて、授業担当教員毎に、オフィスアワーを設定しており、シラバスで明示している。なお、令和2年度は、コロナウイルスの影響で遠隔授業となったが、その際も、各種資料にてメールでの質問を推奨し、寄せられた質問には速やかに回答するなどし、双方向性の確保に最大限の配慮を行った。

開講年度	開講学期	開講学部等			
2023	第1クォータ ー	共通教育			
科目ナンバリング	時間割番号	科目名[英文名]			
GnE1B-OBAS-003	A0351	情報リテラシー入門 I 【メディア授業科目】	Introduction to IT Literacy I		
担当教員[ローマ字表記]	定員	曜日・時 限	単位 数	主要授業科 目	
稲元 勉 [INAMOTO Tsutomu]		月1	1		
授業科目区分	基礎科目 情報リテラシー入 門	対象学 生	理学部 ー	対象年次	1～9

授業題目

情報リテラシー入門 I [Introduction to ICT Literacy I]

授業のキーワード

情報セキュリティ(information security), ネットワークの数理的背景(mathematical background of the network), データと情報(data and information), データサイエンス (Data Science)

授業の目的

世の中がデータ駆動型の社会へと大きく様変わりしていることを踏まえて、データを転送するネットワークのセキュリティと数理的背景を理解した上で、コンピュータを用いてデータをどのように取得し利用するのかをデータサイエンスの重要性と共に理解する。

授業の到達目標

- (1) データや情報を収集または配信する手段として、インターネットや電子メールを活用できる。
- (2) セキュリティや数理的背景の知識を踏まえて、正しくネットワークを利用できる。
- (3) データと情報の違いについて説明できる。
- (4) ネットワークを用いたデータ取得とデータ分析の数理について説明できる。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標） / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

自らの個性や適性に基づき学び続ける基本姿勢（基本姿勢）
学習活動や社会生活に必要な技能（基本技能）

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

必要な情報を収集・整理できる
自らの個性や適性を活かして行動できる

授業概要

・この科目は非同期型の遠隔授業になりますので、Moodle でコースのe-ラーニング教材を確認してください。
コンピュータ演習には MS Office 2021 を使用します。
・授業で扱う内容は、教科書の1章～7章と9章です。

- 1章 パソコンの基本操作
- 2章 情報セキュリティ
- 7章 情報利活用：文書作成
- 3章 ネットワークの利用
- 6章 ネットワークとネットサービス
- 4,5章 コンピュータ、情報とデータ
- 9章 情報利活用：プレゼンテーション

授業スケジュール

- 第1回 PC利用の基本とセキュリティ
- 第2回 データや情報の収集と配信
- 第3回 レポート作成
- 第4回 ネットワーク利用における安全対策
- 第5回 インターネットの数理的背景
- 第6回 データと情報の数理
- 第7回 プレゼンテーション資料作成
- 第8回 期末試験とまとめ

授業時間外学習にかかわる情報

教科書をよく読むこと、確認問題での学習、レポートの作成などが時間外学習での課題です。

成績評価方法

- ・ 期末試験で到達目標 (1),(2),(3),(4) を評価します。

受講条件

教科書は毎年改定されます。最新の教科書を購入してください。

受講のルール

【資料配布】

教科書以外で授業に必要な資料は、eラーニング教材としてMoodleで配布します。

【質問について】

各クラスにティーチングアシスタント(TA) やスチューデントアシスタント(SA)が配置されています。質問はMoodleで随時受け付けますので、質問がある場合は担当のTAあるいはSAに質問してください。

教科書（購入の必要のある図書）

教科書1	書名	情報リテラシー入門 2023年版			ISBN	
	著者名	日経B P社編	出版社	日経B P社	出版年	2023

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名	Word 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050307
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

参考書2	書名	PowerPoint 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050321
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

教科書・参考書に関する補足情報

授業では教科書に加え、LMSで提供される全学共通のe-ラーニング教材を利用して授業を行います。また、授業で取り上げられなかった教材にも学生が自主的にアクセスして学習することができます。

オフィスアワー

火曜 16:30～17:30

※出張や会議、ゼミなどが入り居室にいないことがあります。無駄足を防ぐためには、ある程度事前にメールなどで連絡しておくこと。

Eメールアドレス

inamoto.tsutomu.na@ehime-u.ac.jp

連絡先

工学部 5 号館 10階 10-2号室

参照ホームページ

その他

実務経験のある教員による授業科目

開講年度	開講学期	開講学部等			
2023	第2クォータ ー	共通教育			
科目ナンバ リング	時間割番 号	科目名[英文名]			
GnE1B-OBAS- 004	B0351	情報リテラシー入門Ⅱ【メディア授業科目】	Introduction to IT Literacy Ⅱ		
担当教員[ローマ字表記]	定員	曜日・時 限	単位 数	主要授業 科目	
稲元 勉 [INAMOTO Tsutomu]		月1	1		
授業科目区分	基礎科目 情報リテラシー 入門	対象学 生	理学部一（1～ 115）	対象年次	1～9

授業題目

情報リテラシー入門Ⅱ [Introduction to ICT, Data and AI Literacy Ⅱ]

授業のキーワード

データの可視化(data visualization), データの分析(data analysis), 人工知能(Artificial intelligence)

授業の目的

世の中がデータ駆動型の社会へと大きく様変わりしていることを踏まえて、データサイエンスとAIについて理解を深める。具体的には、表計算ソフトを用いたデータの可視化や実データの分析を通してデータサイエンスの基本的な活用法を理解できるようになる。また、AIの基礎的知識を習得し、AIとデータの関係を理解した上でAIが社会のどのような分野で利用され、どのようなリスクがあるか、さらにどのようなことに留意すべきかを理解することができるようになる。

授業の到達目標

- (1) 表計算ソフトで、表計算と簡単なデータ処理、データの可視化ができる。
- (2) 表計算ソフトによる実データの分析を通してデータサイエンスの基本的な活用ができる。
- (3) AIの基礎的知識と、AIの利用分野、リスク、留意点を説明できる。
- (4) Word, PowerPointを用いて自分の考えを表現できる。

ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標） / 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

自らの個性や適性に基づき学び続ける基本姿勢（基本姿勢）
学習活動や社会生活に必要な技能（基本技能）

愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）に関わる項目

個別の知識や技能を相互に関連づけながら習得できる
習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現（記述・口述）できる
広い視野と論理的思考に基づき分析・解釈できる
自らの個性や適性を活かして行動できる

授業概要

- ・この科目は非同期型の遠隔授業になりますので、Moodle でe-ラーニングコースの教材を確認してください。コンピュータ演習にはMS Office 2021を使用します。
- ・授業で扱う内容は、教科書の5章、8章、9章です。
- 5章 情報とデータ
- 8章 情報利活用：表計算
- 9章 情報利活用：プレゼンテーション

授業スケジュール

- 第1回 データ活用のための表計算ソフト
 第2回 データの可視化
 第3回 実データの分析
 第4回 データとAIの関わり
 第5回 AIの利用とリスク
 第6回 データ・AI活用事例の資料作成 (Wordを利用)
 第7回 データ・AI活用事例の資料作成 (PowerPointを利用)
 第8回 期末試験とまとめ

授業時間外学習にかかわる情報

教科書をよく読むこと、確認問題での学習、レポートの作成などが時間外学習での課題です。

成績評価方法

- ・レポート(60点)と期末試験(40点)で到達目標 (1),(2),(3),(4) を評価します。

受講条件

教科書は毎年改定されます。最新の教科書を購入してください。

受講のルール

【資料配布】

教科書以外で授業に必要な資料は、eラーニング教材としてMoodleで配布します。

【レポート】

Word・Excel・PowerPointの演習に関するレポートを提出してもらいます。提出されたレポートは原則として返却しません。

【質問について】

各クラスにティーチングアシスタント(TA)やチューデントアシスタント(SA)が配置されています。質問はMoodleで随時受け付けますので、質問がある場合は担当のTAあるいはSAに質問してください。

教科書 (購入の必要のある図書)

教科書1	書名	情報リテラシー入門 2023年版			ISBN	
	著者名	日経 B P 社編	出版社	日経 B P 社	出版年	2023

参考書 (購入する必要はないが、推奨する図書)

参考書1	書名	Word 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050307
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

参考書2	書名	Excel 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050277
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

参考書3	書名	PowerPoint 2021 基礎 セミナーテキスト			ISBN	9784296050321
	著者名	日経BP社	出版社	日経BP社	出版年	2022

教科書・参考書に関する補足情報

授業では教科書に加え、Moodleで提供される全学共通のeラーニング教材を利用して授業を行います。また、授業で取り上げられなかった教材にも学生が自主的にアクセスして学習することができます。なお、一部教科書に記載の無い内容があり

ますが、e-ラーニング教材を用います。

オフィスアワー

火曜 16:30～17:30

※出張や会議、ゼミなどが入り居室にいないことがあります。無駄足を防ぐためには、ある程度事前にメールなどで連絡しておくこと。

Eメールアドレス

inamoto.tsutomu.na@ehime-u.ac.jp

連絡先

工学部 5 号館 10階 10-2号室

参照ホームページ

その他

講義では「データを扱う」を第2回目と第3回目に取り上げますが、「データを読む」「データを説明する」については『データリテラシー入門』の講義で取り上げますので、データに興味がある方は『データリテラシー入門』を受講してください。

実務経験のある教員による授業科目

(1年次) 令和5年度 前学期 共通教育科目授業時間割表

履修登録 : 3月27日(月)~4月5日(水)
 共通教育科目抽選 : 4月6日(木)
 履修登録確認・修正 : 4月7日(金)~4月16日(日)

【注意1】3ページ目に記載している「履修上の注意」を必ず確認してください。

【注意2】1Qは第1クォーター、2Qは第2クォーターを示します。

【注意3】Rは時限の指定がないことを示します。

【注意4】↑↑の授業科目は、週2コマ履修する必要があります。

月	時間	法文	教育	社会共創	理	医	看護	農	工				
1	10				A0351 情報リテラシー入門Ⅰ 稲元 勉			↑ A0254~A0259 英語Ⅰ ※履修上の注意参照					
	20				B0351 情報リテラシー入門Ⅱ 稲元 勉 (1~115)			↑ B0254~B0259 英語Ⅱ ※履修上の注意参照					
	10		10341 解析学入門 小西敏雄	10342 解析学入門 松澤友紀	10343 解析学入門 小林範之	↓ A0201~A0206 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	↓ A0230~A0233 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	↓ A0234~A0235 英語Ⅰ ※履修上の注意参照	10161~10163 スポーツ (141~280) ※履修上の注意参照				
	20		(習熟度別) (中等教育コース数学教育専攻のみ)		↓ B0201~B0206 英語Ⅱ ※履修上の注意参照	↓ B0230~B0233 英語Ⅱ ※履修上の注意参照	↓ B0234~B0235 英語Ⅱ ※履修上の注意参照						
						10164~10167 スポーツ ※履修上の注意参照							
2	10		10301 線形代数 安部利之					A0352 情報リテラシー入門Ⅰ 野口一	10302 線形代数Ⅰ 鹿崎 隆				
	20		(中等教育コース数学教育専攻のみ)					B0353 情報リテラシー入門Ⅱ 野口一 (食料生産)	10303 線形代数Ⅰ シヤクマフ・ティムリ				
	10							B0354 情報リテラシー入門Ⅱ 塩 三佳 (生命機能・生物環境)	10304 線形代数Ⅰ 山内貴光				
	20								10305 線形代数Ⅰ 三上雅弘				
									10306 線形代数Ⅰ 原本博史				
3	10								10307 線形代数Ⅰ 松澤友紀				
	20								10308 線形代数Ⅰ 安部利之				
	10								10309 線形代数Ⅰ 氏家 勲 (社会デザインコース)				
	20								10168~10170 スポーツ (281~420) ※履修上の注意参照				
4	10												
	20												
	10												
	20												
5	10												
	20												
	10												
	20												
R	10	A0503 環境学入門 上野秀人	A0514 生活科学入門 金子香子	A0542 社会学入門 山本和博	A0553 物理学入門 貴木景二	A0554 物理学入門 尾崎良太郎	A0555 物理学入門 河合慶有	A0502 環境学入門 古賀理和	A0505 環境学入門 恩田弥生	A0519 文学入門 寺尾勝行	A0520 文学入門 秋山英治	A0521 歴史学入門 高橋弘臣	A0545 数学入門 平野 幹
	20	B0503 環境学入門 上野秀人	B0514 生活科学入門 金子香子	B0542 社会学入門 山本和博	B0553 物理学入門 貴木景二	B0554 物理学入門 尾崎良太郎	B0555 物理学入門 河合慶有	B0502 環境学入門 古賀理和	B0505 環境学入門 恩田弥生	B0519 文学入門 寺尾勝行	B0520 文学入門 秋山英治	B0521 歴史学入門 高橋弘臣	B0545 数学入門 平野 幹
	10												
	20												
火	10												
	20												
	10												
	20												
水	10												
	20												
	10												
	20												
木	10												
	20												
	10												
	20												
金	10												
	20												
	10												
	20												

集中講義	10906	10911	10916	10917	10935
ベータリング国内 サービスラーニング	島上亮子	SDGs-グローバル 未来創成入門	小林 修	愛媛大学リーダース・ スクール	村田晋也
				グローバル・ リーダーシップⅠ	村田晋也
					中山 晃

(2年次以上)

曜日	時限	法文	教育	社会共創	理	医	農	工
月	1							
	2						10343 解析学入門 (再履修) 小林範之	
	3		10301 線形代数 (再履修) 安部利之 (中等教育コース数学教育専攻のみ)					10310 線形代数 I (再履修) 岡野 大 西川まどか 10309 線形代数 I (再履修) 氏家 勲 (中等教育コース)
	4							
	1Q	I A0271 英語 I (再履修) ウェバー スコット				I A0272 英語 I (再履修) ブラックバーン トラビス		
5	10922 Effective Presentations スタフォード マーク		10927 Writing Strategies ダウナー イアン		10933 英語S3 ダウナー イアン			※履修上の注意参照
2Q	I B0271 英語 II (再履修) ワタナベ ジェーン		I B0272 英語 II (再履修) カドタ シルバルー		I B0273 英語 II (再履修) トム デジ			I 初級外国語 II (3年次) ※履修上の注意参照
R	1Q 法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照			
	2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		
火	1							I 10329 微積分 I (再履修) 伊藤 宏 I 10328 微積分 I (再履修) 三宅 洋 (中等教育コース)
	1Q	主題探究型科目 (火2科目帯) ※科目は欄外を参照 (1~140)						主題探究型科目 (火2科目帯) ※科目は欄外を参照 (3年次)
	2Q		主題探究型科目 (火2科目帯) ※科目は欄外を参照 (141~)					主題探究型科目 (火2科目帯) ※科目は欄外を参照 (3年次)
	3							
	5	10921 Speaking & Reading Strategies マフイー ロナルド						
R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		
	2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		
水	1							
	2							
	3							
	4							
	5	10923 Writing Workshop 中山 晃		10925 Academic Reading ウェバー スコット			10931 英語S3 ウェバー スコット	
6								I 初級外国語 I (3年次) ※履修上の注意参照
R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		
	2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		
木	1							
	2							
	3							
	4							
	5	I A0271 英語 I (再履修) ウェバー スコット				I A0272 英語 I (再履修) ブラックバーン トラビス		
6	10928 Introductory Interpretation 越智美江							
R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		
	2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		
金	1							I 10329 微積分 I (再履修) 伊藤 宏 I 10328 微積分 I (再履修) 三宅 洋 (中等教育コース)
	1Q	主題探究型科目 (金2科目帯) ※科目は欄外を参照 (1~80)	主題探究型科目 (金2科目帯) ※科目は欄外を参照 (産マネ・環境)	主題探究型科目 (金2科目帯) ※科目は欄外を参照 (産イノ・地域)	主題探究型科目 (金2科目帯) ※科目は欄外を参照 (1~115)	主題探究型科目 (金2科目帯) ※科目は欄外を参照 (116~)	主題探究型科目 (金2科目帯) ※科目は欄外を参照 (食料)	主題探究型科目 (金2科目帯) ※科目は欄外を参照 (生命・生物)
	2Q		主題探究型科目 (金2科目帯) ※科目は欄外を参照 (81~)					
	3							
	5	10924 Oral Communication カワモト ジュリア		10926 Introducing Japanese Culture in English ウェバー スコット			10932 英語S3 ウェバー スコット	
R	1Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		
	2Q	法文・教育・社会共創学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		理・医・工・農学部対象 学問分野別科目 ※1年次時間割表参照		

主題探究型科目 (火2科目帯)	1Q	A0401 鍋嶋絵里	A0403 山下尚之	A0404 東 賢司	A0405 柴田昌児	A0407 上場ゆり	A0410 楠 俊明	A0412 佐々木昌夫	A0414 中川未来	A0415 張 貴民	A0418 安部真人	A0419 吉松靖文	A0420 魁生由美子	A0422 淡野寧彦	A0425 奥島鉄雄	A0428 山本 貴	A0429 内藤俊雄	A0432 倉本 誠	A0436 阿野高孝	A0437 賀屋秀隆	A0438 片岡圭子	A0439 嶋村鉄也	A0440	
	2Q	B0401 鍋嶋絵里	B0403 山下尚之	B0404 東 賢司	B0405 柴田昌児	B0407 上場ゆり	B0410 楠 俊明	B0412 佐々木昌夫	B0414 中川未来	B0415 張 貴民	B0418 安部真人	B0419 吉松靖文	B0420 魁生由美子	B0422 淡野寧彦	B0425 奥島鉄雄	B0428 山本 貴	B0429 内藤俊雄	B0432 倉本 誠	B0436 阿野高孝	B0437 賀屋秀隆	B0438 片岡圭子	B0439 嶋村鉄也	B0440	
主題探究型科目 (金2科目帯)	1Q	A0402 李 賢映	A0406 胡 光	A0409 三浦優生	A0443 青木亮人	A0411 徳田明仁	A0413 安積京子	A0416 栗田英幸	A0417 朝井志歩	A0423 倉内慎也	A0424 樋上善信	A0430 朱 叢	A0431 齊藤 哲	A0434 鍛冶澤 賢	A0435 渡邊誠也	A0442								
	2Q	B0402 李 賢映	B0406 胡 光	B0409 三浦優生	B0443 青木亮人	B0411 徳田明仁	B0413 安積京子	B0416 栗田英幸	B0417 朝井志歩	B0423 倉内慎也	B0424 樋上善信	B0430 朱 叢	B0431 齊藤 哲	B0434 鍛冶澤 賢	B0435 渡邊誠也	B0442								
集中講義	1Q	A0381 愛媛学 (再履修) 秋丸園廣	A0701 守田逸人	A0702 高畑貴志	A0703 森田佐知子	A0704 福井昌則	A0705 竹口幸志	A0706 林 敏浩	A0751 ヒラノフ アツシ	2Q														
										B0461 松村暢彦	B0462 高橋志野	B0464 阿部寿博	B0701 藤本憲市	B0702 渡邊史郎	B0703 金西計英	B0704 林 敏浩	B0705 末永慶寛	B0706 宮下晃一	B0751 西村勝志	B0752 杉森正敏				
Semester		I0701 余郷裕次	I0702 岩崎保道	I0703 佐々浩司	I0704 村山雅史	I0751 高橋平徳	I0752 平野 幹	I0753 長井偉訓	I0754 古賢理和	I0755 小田敬美	I0756 二神 透	I0757 阿部光伸	I0758 阿部光伸	I0901 二神 透	I0907 島上宗子	I0912 アドバンスト 環境防災学 国内サービス ラーニング 島上宗子	I0912 環境ESD 指導者養成 講座 II 小林 修	I0929 Studying English Abroad I 中山 晃	I0935 英語S1 中山 晃					

備考













1. 授業科目記載例

10302	←	科目番号
線形代数Ⅰ	←	授業科目名
庭崎 隆	←	担当教員
(1~75)	←	特記事項

3. 授業時間

第1時限	8:30	~	10:00
第2時限	10:20	~	11:50
第3時限	12:40	~	14:10
第4時限	14:30	~	16:00
第5時限	16:20	~	17:50
第6時限	18:00	~	19:30

2. 科目の色分け

	…	こころと健康
	…	スポーツ
	…	英語
	…	数学
	…	情報リテラシー入門
	…	愛媛学
	…	主題探究型科目
	…	学問分野別科目
	…	初修外国語
	…	高年次教養科目
	…	高年次教養科目(知プラe科目)
	…	発展科目

履修上の注意

1. 「新入生セミナーA」「新入生セミナーB」及び専門教育科目は、所属学部の履修指導に従って履修登録してください。
2. 「スポーツ」は、シラバスと修学支援システム履修登録画面または共通教育センターHP「在学生はこちら」の『令和5年度前学期「スポーツ」の履修について』を参照し、履修登録してください。
3. 英語
 - (1) 「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」は、別紙「クラス分け一覧」でも該当するクラスを確認しておいてください。
 - (2) 再履修について
再履修用の「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」を履修登録してください。登録後、人数調整のためクラスが変更される場合があります。結果は、4月7日(金)以降に修学支援システムで確認してください。(これによる学生自身での履修登録の変更は不要です。)なお、共通教育掲示板と英語教育センター事務室にも結果を掲示します。
 - (3) 「英語S3」は、履修制限があります。シラバスを確認の上、履修登録してください。登録者数が人数制限を超えている場合は、「英語プロフェッショナル養成コース登録者」を優先します。受講者の決定は、4月7日(金)以降に修学支援システムで確認してください。(これによる学生自身での履修登録の変更は不要です。)なお、共通教育掲示板と英語教育センター事務室にも結果を掲示します。
 - (4) 「英語S1」は、夏季休業中に実施する短期語学研修です。Webでの履修登録はできません。詳細は、英語教育センター事務室に問い合わせてください。
4. 情報リテラシー入門の再履修について
「情報リテラシー入門Ⅰ」または「情報リテラシー入門Ⅱ」を再履修する場合は、希望する曜日時限のクラスを履修登録してください。
5. 数学は、所属学部の指示に従って履修登録してください。
6. 教養科目の抽選について
受講者数は、主題探究型科目と初修外国語は数十人程度、学問分野別科目は100~200人程度としています。また、高年次教養科目の一部にも受講者数に制限のある科目があります。履修登録者数が定員を超過した科目は、4月6日(木)に抽選を行います。4月7日(金)に必ず抽選結果を確認し、抽選漏れした場合は他の科目を再登録してください。なお、履修登録の状況によっては、抽選時に1年生を優先する場合があります。
7. 初修外国語
修学支援システム履修登録場面または共通教育センターHPに掲載している「初修外国語一覧」を参照し、週2回(月5・木5または水6・金6)開講される同一言語のⅠとⅡをセットで履修してください。
8. 集中講義
 - (1) 知プラe科目と再履修科目を除く集中講義は、共通教育センターHP及び修学支援システムのお知らせ情報で実施要項を発表し、その都度受講生を募集します。
 - (2) 知プラe科目は、インターネットを利用したe-Learning授業です。修学支援システムでの履修登録の他にMoodleの手続きが必要です。詳しい手続き方法は、大学連携e-Learning教育支援センター四国HP内(<https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp>)の「愛媛大学学生向け履修案内」を確認してください。
9. その他
 - (1) 共通教育科目の授業形態は、シラバスの「授業概要」に記載されていますので、必ず確認してください。
 - (2) 対面授業の教室は、修学支援システムで確認してください。状況によって教室変更を随時行います。変更があれば、修学支援システム及び共通教育掲示板でお知らせします。
 - (3) 休講・補講は修学支援システムまたは電子掲示板で確認してください。
 - (4) 令和4年度以前入学の学生が共通教育科目を履修する場合は、読替表(修学支援システム履修登録画面、共通教育センターHPに掲載)に従って履修科目を選択してください。
 - (5) 共通教育科目の履修に関して不明な点は、共通教育チームに問い合わせてください。
問合せ専用メールアドレス kyogakum@stu.ehime-u.ac.jp

共通教育科目（夜間主コース）

【前期】

区分	時間割番号	科目名	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考
初年度科目	こころと健康	10151	こころと健康	野本 ひさ	2	1	火	7	
	スポーツ	10171	スポーツ	市河 勉	1	1	月	7	
		10172	スポーツ	中川 雅智	1	1	月	7	

【1Q】

区分	時間割番号	科目名	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考		
基礎科目	英語	A0260	英語 I	ワタナベ ジェーン	1	1	火	6	M31		
		A0261	英語 I	ブラック レスリー	1	1	火	6	M23		
		A0262	英語 I	カドタ シルバルー	1	1	火	6	M22		
		A0274	英語 I	三浦 優生	1	2	火	6	M33	再履修用	
		A0359	情報リテラシー入門 I	佐々木隆志	1	1	金	7		再履修用 (2016~2021入学生)	
教養科目	主題探究型科目	A0381	愛媛学	秋丸 國廣	1	3	集中				
		A0421	社会のしくみを考える	松村 暢彦	1	2	水	7			
		A0433	自然のしくみ	上谷 浩一	1	2	水	7	共 B 304		
	初修外国語	A0441	生命の不思議	高田 裕美	1	2	水	7	共 B 403		
		A0603	初級ドイツ語 I	田島 篤史・伊藤 亮平	1	1	水	6	M23		
		A0613	初級フランス語 I	モリ エリック・田和 勇希	1	1	水	6	E 41		
		A0626	初級中国語 I	宮田さつき・陳 曉華	1	1	水	6	M32		
		A0635	初級朝鮮語 I	崔 昌玉	1	1	水	6	M24		
		総合分野	A0506	環境学入門	山下 浩	1	1	火			
			A0501	環境学入門	石橋 弘志	1	1	水			
			A0512	人間科学入門	柴田 論	1	1	木			
			A0514	生活科学入門	金子 省子	1	1	月			
			A0517	生活科学入門	都築 伸二	1	1	金			
			社会科学分野	A0541	経済学入門	川口 和仁	1	1	土		
				A0542	社会学入門	山本 和博	1	1	月		
				A0544	社会学入門	秋丸 國廣	1	1	木		
				A0547	数学入門	平野 幹	1	1	木		
				A0554	物理学入門	尾崎良太郎	1	1	月		
		A0560		化学入門	小原 敬士	1	1	火			
		A0564		生物学入門	畑 啓生	1	1	水			
自然科学分野	A0566	生物学入門	枝重 有祐	1	1	水					
	A0571	地学入門	鏑本 武久	1	1	木					
	A0572	工学入門	全 現九	1	1	金					
	A0573	農学入門	関藤 孝之	1	1	金					

【2Q】

区分	時間割番号	科目名	担当教員	単位数	受講生区分	曜日	時限	教室	備考	
基礎科目	英語	B0260	英語 II	池野 修	1	1	火	6	教102	
		B0261	英語 II	折本 素	1	1	火	6	M22	
		B0262	英語 II	アウ バク	1	1	火	6	M32	
		B0274	英語 II	ブラックパーソン トラビス	1	2	火	6	M33	再履修用
		B0369	情報リテラシー入門 II	佐々木隆志	1	1	金	7		
教養科目	初修外国語	B0603	初級ドイツ語 II	田島 篤史・伊藤 亮平	1	1	水	6	M23	
		B0613	初級フランス語 II	モリ エリック・田和 勇希	1	1	水	6	E 41	
		B0626	初級中国語 II	宮田さつき・陳 曉華	1	1	水	6	M32	
		B0635	初級朝鮮語 II	崔 昌玉	1	1	水	6	M24	
	総合分野	B0501	環境学入門	石橋 弘志	1	1	水			
		B0506	環境学入門	山下 浩	1	1	火			
		B0512	人間科学入門	柴田 論	1	1	木			
		B0514	生活科学入門	金子 省子	1	1	月			
		B0517	生活科学入門	都築 伸二	1	1	金			
		B0518	生活科学入門	古賀 理和	1	1	土			
		社会科学分野	B0542	社会学入門	山本 和博	1	1	月		
			B0544	社会学入門	秋丸 國廣	1	1	木		
			B0547	数学入門	平野 幹	1	1	木		
			B0554	物理学入門	尾崎良太郎	1	1	月		
			B0560	化学入門	小原 敬士	1	1	火		
B0564	生物学入門		畑 啓生	1	1	水				
B0566	生物学入門		枝重 有祐	1	1	水				
自然科学分野	B0571	地学入門	鏑本 武久	1	1	木				
	B0572	工学入門	全 現九	1	1	金				
	B0573	農学入門	関藤 孝之	1	1	金				

- 注1) 「英語Ⅰ・Ⅱ」のクラスは、指定された教員（修学支援システム履修登録画面に記載）の授業を履修してください。
- 注2) 「スポーツ」は、シラバスと修学支援システム履修登録画面または共通教育センター HP「在学生はこちら」の『令和5年度前学期「スポーツ」の履修について』を参照し、履修登録してください。
- 注3) 昼間開講の共通教育科目を履修する場合には、「共通教育履修案内」の「昼間開講科目履修のルール」に従って時間割を確認し、履修登録期間に履修登録をしてください。
- 注4) 2022年度以前入学生は、2022年度までに履修した昼間開講の学問分野別科目については、共通教育履修案内の「履修のルール」に記載のある、教養科目の履修単位制限の対象となります。ただし、2023年度以降に履修する学問分野別科目は、開講曜日を問わず、夜間開講科目として履修することになるため、「履修のルール」に記載のある教養科目の履修単位制限に含まれません。
- 注5) 2022年度以前入学生は、読替表を確認してから履修登録をしてください。もし、不明な点があれば、共通教育チームに問い合わせてください。

2023(令和5)年度

共通教育 履修案内

※以下、共通教育履修案内より抜粋

愛媛大学共通教育センター

履修単位表

法文学部

科目区分		学科・コース	人文社会学科
			昼間主コース
初年次科目	新入生セミナー A		2単位
	新入生セミナー B		2単位
	こころと健康		2単位
	スポーツ		1単位
	小計		7単位
基礎科目	英語		4単位
	社会力入門		1単位
	情報リテラシー入門		2単位
	知的財産入門		1単位
	小計		8単位
共通教育科目 未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位
	未来思考リテラシー		1単位
	小計		2単位
共通教育科目 教養科目	主題探究型科目		2単位
	学問分野別 科目	総合分野	12単位
		人文学分野	
		社会科学分野	
		自然科学分野	
	高年次教養 科目	文系主題科目	12単位
		理系主題科目	
	教員免許に 関する科目	スポーツと教育	12単位
		教職日本国憲法	
	小計		14単位
発展科目			
計		31単位	
専門教育科目		84単位	
自由選択		12単位	
合計		127単位	

科目区分		学科・コース	人文社会学科
			夜間主コース
初年次科目	新入生セミナー A		2単位
	新入生セミナー B		2単位
	こころと健康		2単位
	スポーツ		1単位
	小計		7単位
基礎科目	英語		4単位
	社会力入門		1単位
	情報リテラシー入門		2単位
	知的財産入門		1単位
	小計		8単位
共通教育科目 未来思考支援科目	Beyond SDGs		1単位
	未来思考リテラシー		1単位
	小計		2単位
共通教育科目 教養科目	主題探究型科目		2単位
	学問分野別 科目	総合分野	12単位
		人文学分野	
		社会科学分野	
		自然科学分野	
	初修外国語		12単位
	高年次教養 科目	文系主題科目	12単位
		理系主題科目	
	教員免許に 関する科目	スポーツと教育	12単位
教職日本国憲法			
小計		14単位	
発展科目			
計		31単位	
専門教育科目		76単位	
自由選択		18単位	
合計		125単位	

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・昼間主コースにおいては、教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

・夜間主コースにおいては、教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修単位表

教育学部

課程・コース・専攻	学校教育教員養成課程																
	初等教育コース		中等教育コース											特別支援教育コース			
	幼年教育サブコース	小学校サブコース	国語教育	社会科教育	数学教育	理科教育	音楽教育	美術教育	保健体育	技術教育	家政教育	英語教育	小学校基礎免	中学校基礎免			
科目区分																	
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA	2単位														
		新入生セミナーB	2単位														
		こころと健康	2単位														
		スポーツ	1単位														
		小計	7単位														
	基礎科目	英語	4単位														
		数学					線形代数 2単位	解析学入門 2単位									
		社会力入門	1単位														
		情報リテラシー入門	2単位														
		知的財産入門	1単位														
		小計	8単位				12単位			8単位							
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位														
		未来思考リテラシー	1単位														
		小計	2単位														
	教養科目	主題探究型科目	2単位														
		学問分野別科目	総合分野														
			人文学分野														
			社会科学分野														
			自然科学分野	9単位													
		初修外国語															
高年次教養科目		文系主題科目															
		理系主題科目															
教員免許に関する科目		スポーツと教育	1単位														
		教職日本国憲法	2単位														
小計	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位	14単位			
発展科目	(注) 参照																
計	31単位	31単位	31単位	31単位	35単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位	31単位			
専門教育科目	専門科目	93単位	87単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	80単位	96単位	95単位		
	自由選択	6単位	12単位	19単位	19単位	15単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	19単位	3単位	4単位		
	合計	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位	130単位		

(注)・「発展科目」は、卒業要件上の「自由選択」の単位となる。

・教養科目のうち主題探究型科目2単位及び教員免許に関する科目3単位を除く9単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得すること。

履修単位表

社会共創学部

科目区分		学科		産業マネジメント 学科	産業イノベーション 学科	環境デザイン 学科	地域資源マネジメント 学科	
		産業マネジメント 学科	産業イノベーション 学科					
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A		2単位				
		新 入 生 セ ミ ナ ー B		2単位				
		こ こ ろ と 健 康		2単位				
		ス ポ ー ツ		1単位				
		小 計		7単位				
	基礎科目	英 語		4単位				
		社 会 力 入 門		1単位				
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門		2単位				
		知 的 財 産 入 門		1単位				
		小 計		8単位				
	未来考受履科目	B e y o n d S D G s		1単位				
		未 来 思 考 リ テ ラ シ ー		1単位				
		小 計		2単位				
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目		2単位				
		学問分野別 科 目	総 合 分 野		12単位			
			人 文 学 分 野					
			社 会 学 分 野					
			自 然 学 分 野					
		初 修 外 国 語		14単位				
		高年次教養 科 目	文 系 主 題 科 目					
理 系 主 題 科 目								
教員免許に 関する科目		ス ポ ー ツ と 教 育		14単位				
		教 職 日 本 国 憲 法						
小 計		14単位						
発 展 科 目		31単位						
計								
専門教育科目	専 門 科 目		93単位					
	合 計		124単位					

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語及び高年次教養科目から取得すること。

履修単位表

理学部

科目区分		学科	理学科	
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナー A	2単位	
		新入生セミナー B	2単位	
		こころと健康	2単位	
		スポーツ	1単位	
		小計	7単位	
	基礎科目	英語	4単位	
		数学	微積分 2単位	
		社会力入門	1単位	
		情報リテラシー入門	2単位	
		知的財産入門	1単位	
		小計	10単位	
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位	
		未来思考リテラシー	1単位	
		小計	2単位	
	教養科目	主題探究型科目	2単位	
		学問分野別科目	総合分野	12単位
			人文学分野	
			社会科学分野	
			自然科学分野	
		初修外国語		
		高年次教養科目	文系主題科目	
			理系主題科目	
		教員免許に関する科目	スポーツと教育	
教職日本国憲法				
小計	14単位			
発展科目				
計	33単位			
専門教育科目	専門科目	91単位		
合計		124単位		

(注) ・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修単位表

医学部

科目区分		学科			
		医学科	看護学科		
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナー A	2単位		
		新入生セミナー B	2単位		
		こころと健康	2単位		
		スポーツ	1単位		
		小計	7単位		
	基礎科目	英語	4単位		
		社会力入門	1単位		
		情報リテラシー入門	2単位		
		知的財産入門	1単位		
		小計	8単位		
	未来思考支援科目	Beyond SDGs	1単位		
		未来思考リテラシー	1単位		
		小計	2単位		
	教養科目	主題探究型科目	2単位	2単位	
		学問分野別科目	総合分野	12単位	12単位
			人文学分野		
			社会科学分野		
			自然科学分野		
		初修外国語			
		高年次教養科目	文系主題科目		
			理系主題科目		
		教員免許に関する科目	スポーツと教育		
			教職日本国憲法		
小計	14単位	14単位			
発展科目					
計	31単位	31単位			
専門教育科目	専門基礎科目	18単位	20単位		
	専門科目	153単位	73単位		
合計		202単位	124単位		

(注)・看護学科で養護教諭一種免許状の取得希望者は、教員免許に関する科目「教職日本国憲法」と「スポーツと教育」を履修すること（保健師免許状を取得後、養護教諭二種免許状の取得を希望する場合も同様）。

・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修単位表

工学部

科目区分		学科	工学科	
共通教育科目	初年次科目	新 入 生 セ ミ ナ ー A	2単位	
		新 入 生 セ ミ ナ ー B	2単位	
		こ こ ろ と 健 康	2単位	
		ス ポ ー ツ	1単位	
		小 計	7単位	
	基礎科目	英 語	4単位	
		数 学	線形代数Ⅰ 2単位 線形代数Ⅱ 2単位 微積分Ⅰ 4単位 微積分Ⅱ 2単位	
		社 会 力 入 門	1単位	
		情 報 リ テ ラ シ ー 入 門	2単位	
		知 的 財 産 入 門	1単位	
		小 計	18単位	
	未来思考支援科目	B e y o n d S D G s	1単位	
		未 来 思 考 リ テ ラ シ ー	1単位	
		小 計	2単位	
	教養科目	主 題 探 究 型 科 目	2単位	
		学問分野別 科 目	総 合 分 野	12単位
			人 文 学 分 野	
			社 会 学 分 野	
			自 然 学 分 野	
		初 修 外 国 語	12単位	
高年次教養 科 目		文 系 主 題 科 目		
		理 系 主 題 科 目		
教員免許に 関する科目		ス ポ ー ツ と 教 育		
		教 職 日 本 国 憲 法		
小 計	14単位			
発 展 科 目				
計	41単位			
専門教育科目	工 学 共 通 基 礎 科 目	16単位		
	専 門 入 門 科 目	10単位		
	専 門 基 礎 科 目 ・ 専 門 応 用 科 目	57単位		
合 計	124単位			

(注) ・学問分野別科目の「工学入門」及び「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

履修単位表

農学部

科目区分		学科		食料生産学科	生命機能学科	生物環境学科	
共通教育科目	初年次科目	新入生セミナーA			2単位		
		新入生セミナーB			2単位		
		こころと健康			2単位		
		スポーツ			1単位		
		小計			7単位		
	基礎科目	英語			4単位		
		数学			解析学入門 2単位		
		社会力入門			1単位		
		情報リテラシー入門			2単位		
		知的財産入門			1単位		
		小計			10単位		
	未来思考支援科目	Beyond SDGs			1単位		
		未来思考リテラシー			1単位		
		小計			2単位		
	教養科目	主題探究型科目			2単位		
		学問分野別科目	総合分野				
			人文学分野				
			社会科学分野				
			自然科学分野				
		初修外国語			12単位		
		高年次教養科目	文系主題科目				
			理系主題科目				
		教員免許に関する科目	スポーツと教育				
			教職日本国憲法				
	小計			14単位			
	発展科目						
	計			33単位			
専門教育科目	専門科目			96単位			
合計			129単位				

(注)・「発展科目」は卒業要件単位数へ算入しない。

・教養科目のうち主題探究型科目2単位を除く12単位は、学問分野別科目、初修外国語、高年次教養科目及び教員免許に関する科目（※履修制限あり）から取得すること。

愛媛大学 ICT/DS/AI 教育プログラム（リテラシー）概要

プログラムの概要

本プログラム（リテラシー）は、本学に在学する全学部生を対象とした共通教育科目である「情報リテラシー入門Ⅰ」「情報リテラシー入門Ⅱ」から構成されている教育プログラムです。このプログラムでは、現代社会で活躍するために必須となるICT/DS/AIについての基礎知識や考え方を身に着けることができます。プログラム修了者には「愛媛大学ICT/DS/AI教育プログラム（リテラシー）修了認定証」が発行されます。

なお、本プログラムは全学部学生が受講する必修科目として、データサイエンスセンター（CDSE）が教育・学生支援機構と協働して企画・実施するものです。

*本プログラムは「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」（文部科学省）に認定されています。

プログラムの修了要件

本プログラムを構成する2つの科目のすべてについて単位取得することが修了要件です。単位取得が完了した年度の年度末にプログラム修了を認定します。

なお、プログラムへの参加・修了認定に際し、申請等の手続きは不要です。単位取得完了をもって自動的に修了認定し、修了認定証を発行します。

プログラムの構成

情報リテラシー入門Ⅰ（基礎科目・1単位（必修））
情報リテラシー入門Ⅱ（基礎科目・1単位（必修））

※2科目とも共通教育科目で開講されます。履修登録の際は所属学部のルールに従ってください。

愛媛大学 ICT/DS/AI 教育プログラム

数学入門（データリテラシー入門プラス）
（共通1/2年次・選択）

数学入門（データリテラシー入門）
（共通1年次・選択）

理系主題科目
（DS・AI実践PBL）
（高年次教養・集中開講）

情報リテラシー入門Ⅰ/Ⅱ（共通1年次・必修）

文科省認定制度
数理・DS・AI
教育プログラム

認定制度
（応用基礎）

認定制度
（リテラシー）